

「広島地域における大腸 ESD の有効性と安全性に関する 多施設共同研究」について

2008 年 1 月から 2018 年 12 月まで(2018 年以内に目標症例数に達した場合は目標症例数達成日まで)に広島大学病院及び共同研究機関で大腸腺腫・早期癌に対して大腸粘膜下層剥離術：Endoscopic submucosal dissection (ESD)を施行した患者さんへ協力をお願いしています。

○研究の意義・目的

大腸腫瘍の ESD は、外科手術と比較して侵襲の低い手技であり、条件付きで 2012 年 4 月に保険収載されました。大腸 ESD は胃癌、食道癌に対する ESD に比べて治療の難易度が高いことが報告されております。本臨床研究の目的は、広島地域における大腸 ESD 導入施設から専門施設までの大腸 ESD 症例を集積することによってその有効性と安全性を証明することです。

○研究の方法

本研究は診療記録を調査・解析させていただきますので、基本的には患者さんへコンタクトはありません。通常の診療に従って現在受診されている病院へ通院していただき、ESD 後 5 年間の病状を追跡させていただきます。しかし、他病院へ通院することになった場合や、途中で通院されなくなった場合には、アンケート用紙などで病状や病歴を調査させていただきます。さらに、現在の患者さんのかかりつけ医より診療情報を提供して頂く場合がございます。なお、集めた情報は、氏名、生年月日など個人を識別する情報を取り除いて匿名化した後に研究に使用し個人情報の保護を徹底しますので、個人情報第 3 者に公開されることはありません。

本研究の実施期間は、2029 年 12 月 31 日までです。

○研究の実施体制について

研究代表者

広島大学 大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎

共同研究機関（機関名・研究責任者名）

データ収集済みのため、2024 年 12 月末をもって研究終了

国立病院機構呉医療センター消化器内科・桑井 寿雄

国立病院機構広島西医療センター消化器科・藤堂 祐子

国立病院機構東広島医療センター消化器内科・藤堂 祐子

県立広島病院内視鏡内科・平賀 裕子

県立安芸津病院消化器内科・赤木 盛久

広島市立広島市民病院内科・國弘 真己
市立三次中央病院消化器内科・中村 耕樹
呉共済病院消化器内科・岡本 志朗
広島記念病院内科・木村 茂
中国労災病院消化器内科・実綿 倫宏
済生会広島病院消化器内科・谷本 達郎
済生会呉病院内科・津賀 勝利
広島赤十字・原爆病院消化器内科・岡信 秀治
庄原赤十字病院内科・西山 宗希
JA 尾道総合病院消化器内科・北村 正輔
JA 広島総合病院消化器内科・古土井 明
JA 吉田総合病院消化器内科・影本 賢一
広島鉄道病院消化器内科・中尾 円
マツダ病院消化器科・平田 大三郎
土谷総合病院消化器内科・田村 忠正
中電病院内科・金 宣眞
広島三菱病院内科・現在なし（廃院）
三菱三原病院内科・山内 亮
三次地区医療センター消化器科・大西 真由
広島市立北部医療センター安佐市民病院内視鏡内科・永田 信二

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

- * 研究への参加に同意された後に、研究に資料を提供したくなくなった場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5537

広島大学 大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎（研究責任者）

大学院生 上垣内 由季（担当者）